

## 令和2年度ポイ捨てごみについてのアンケート調査結果

■回答者数：73人

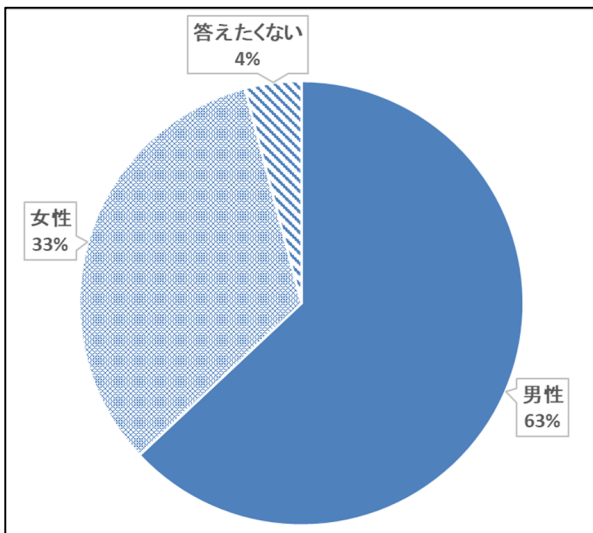
■調査期間：令和2年11月1日～12月31日

■調査概要：

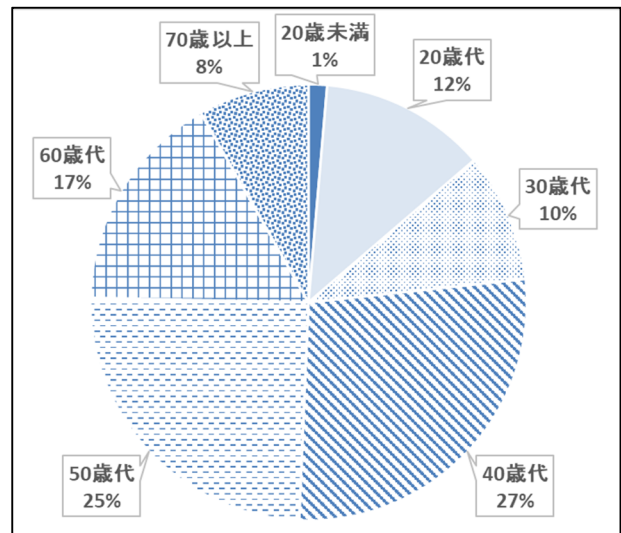
- ・新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年実施している聞き取り調査を実施せず、しがネット受付サービスを用いてアンケート調査を実施。
- ・アンケート調査の周知を市町に依頼するとともに、県が主催する県下一斉清掃運動において、アンケート調査のリンク先を貼り付けた啓発用ポケットティッシュを配布。

### 【属性】

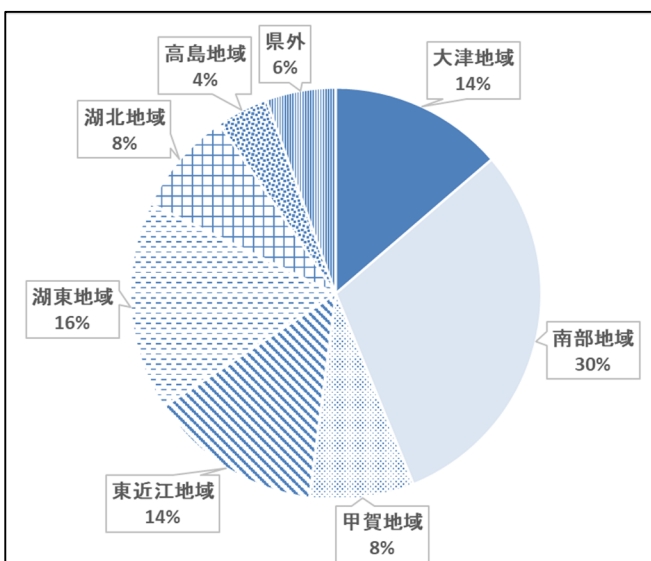
・性別



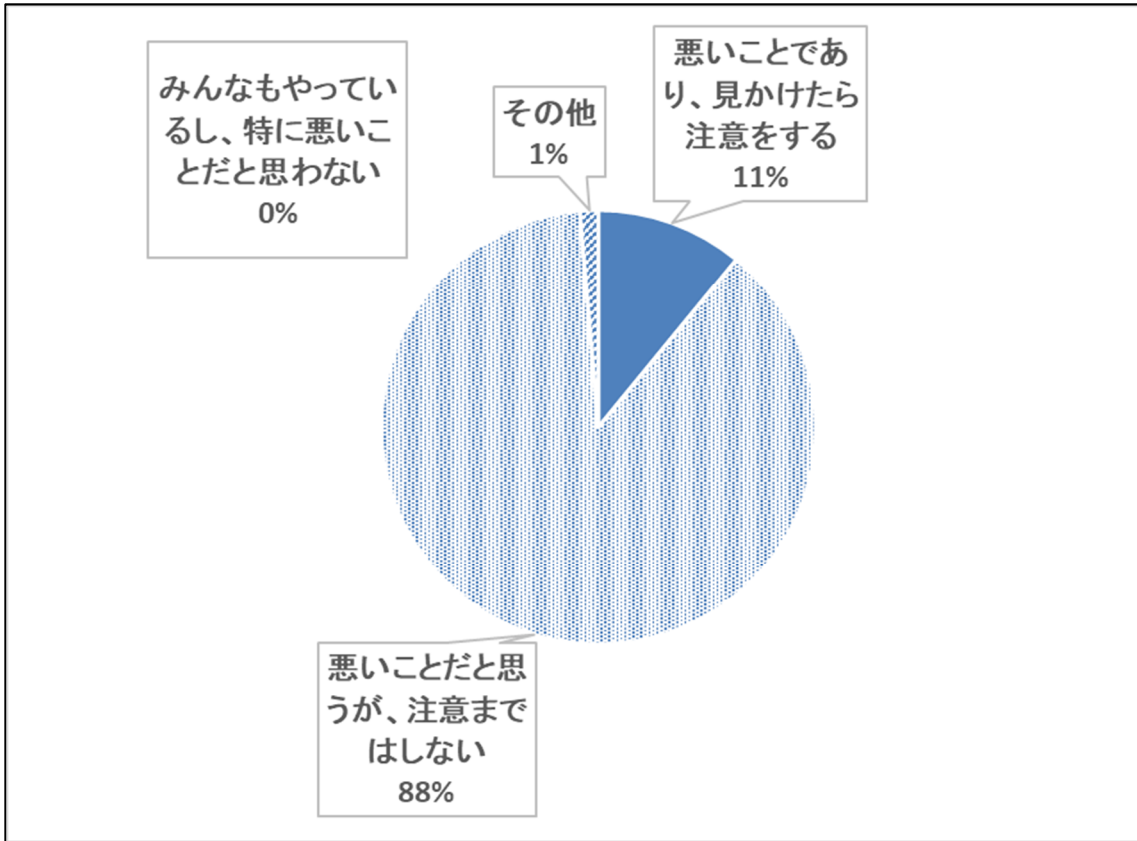
・年齢



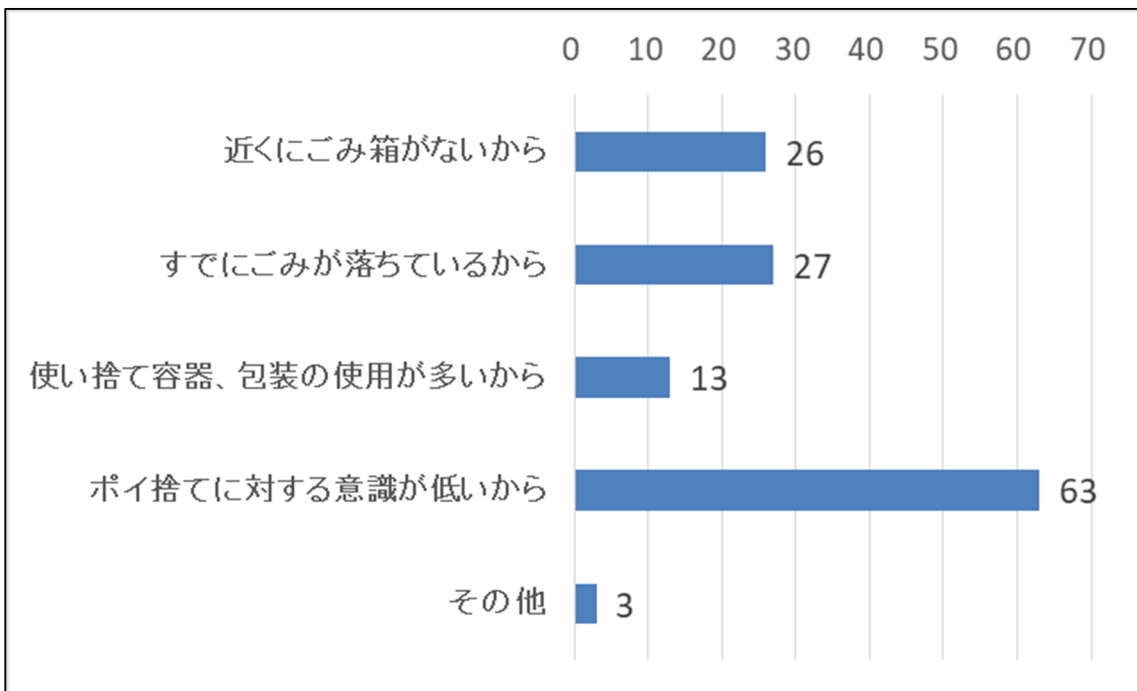
・居住地域



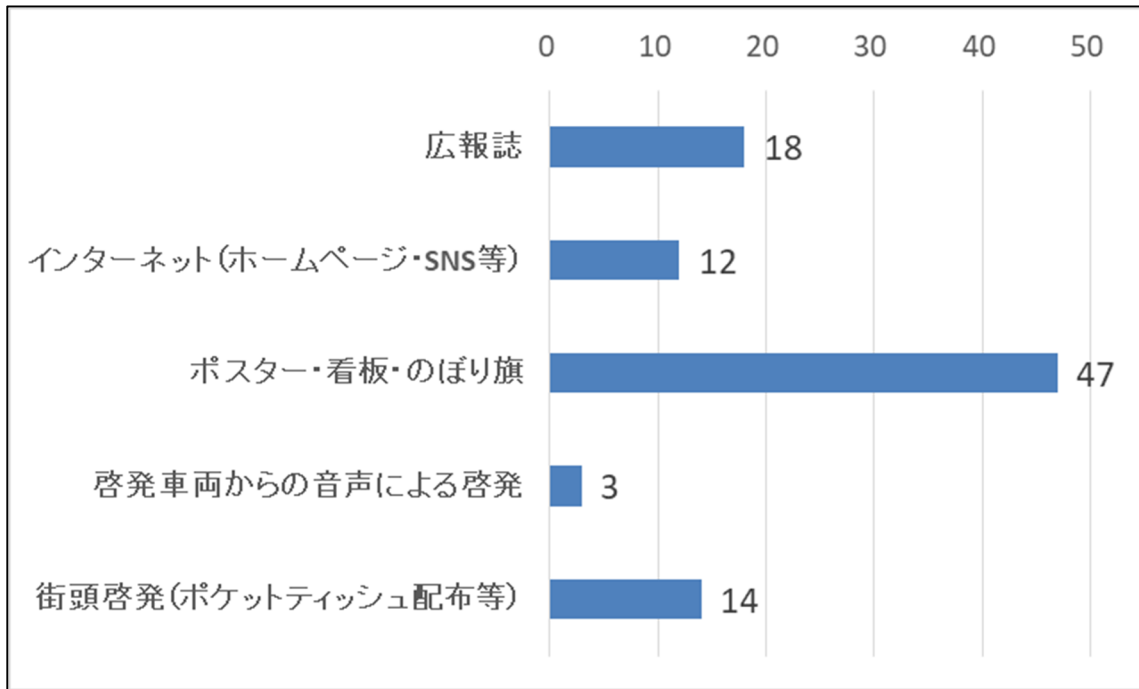
【問】 あなたがポイ捨て行為を見かけたとき、どのように思いますか。



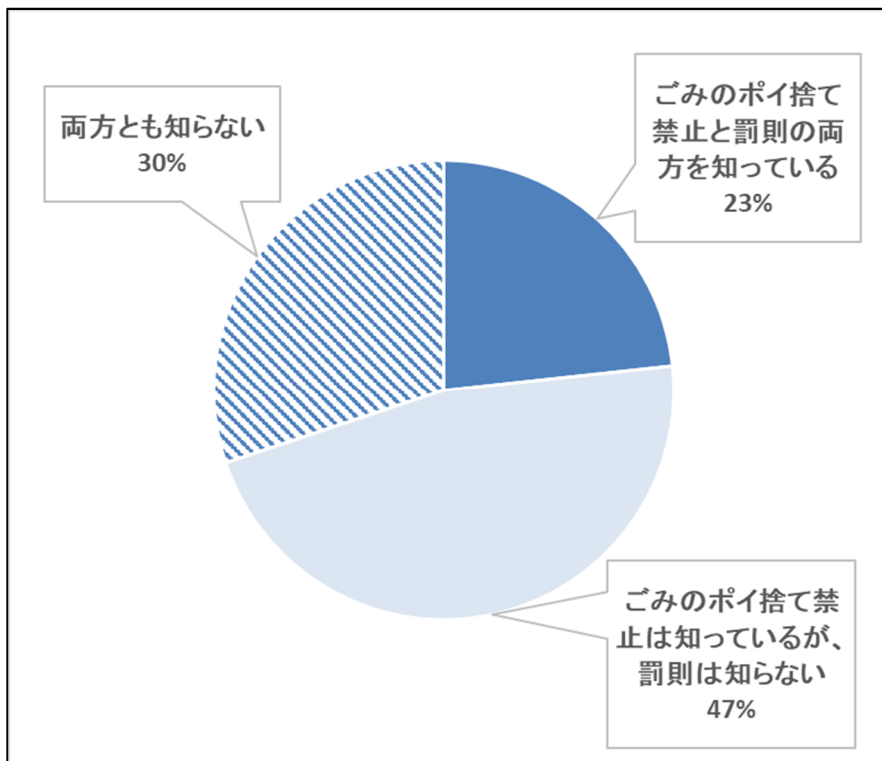
【問】 ポイ捨ての原因は何だと思えますか。(複数回答可)



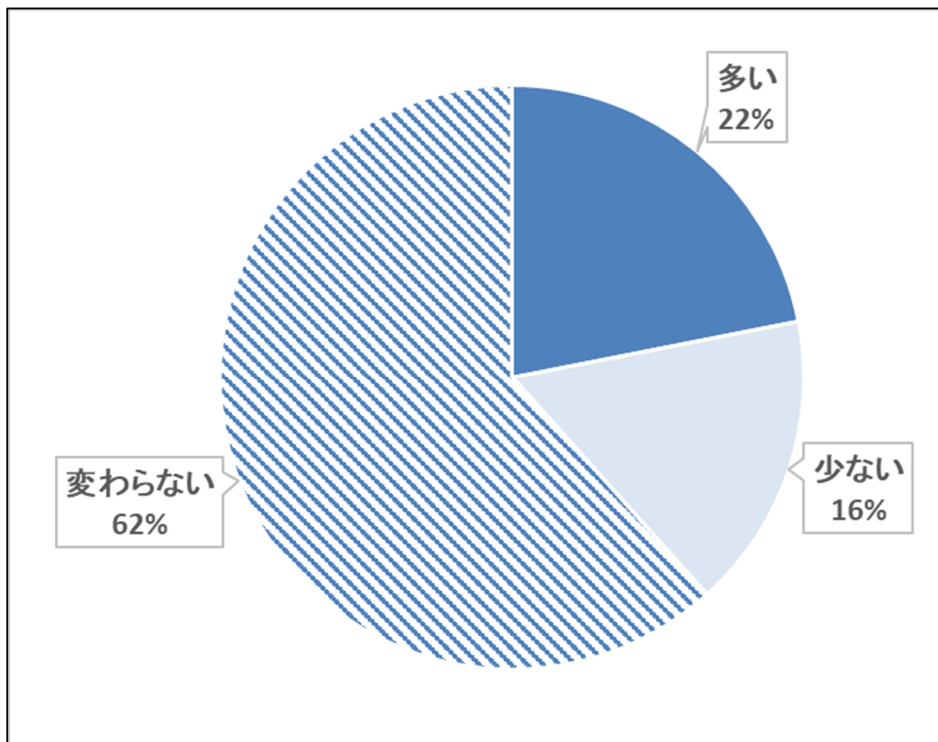
【問】 国や県、市町および関係団体では、ごみのポイ捨て禁止について、次のような方法で啓発を行っています。あなたは、最近1年ぐらいの間に、これらによる啓発を見たことはありますか。(複数回答可)



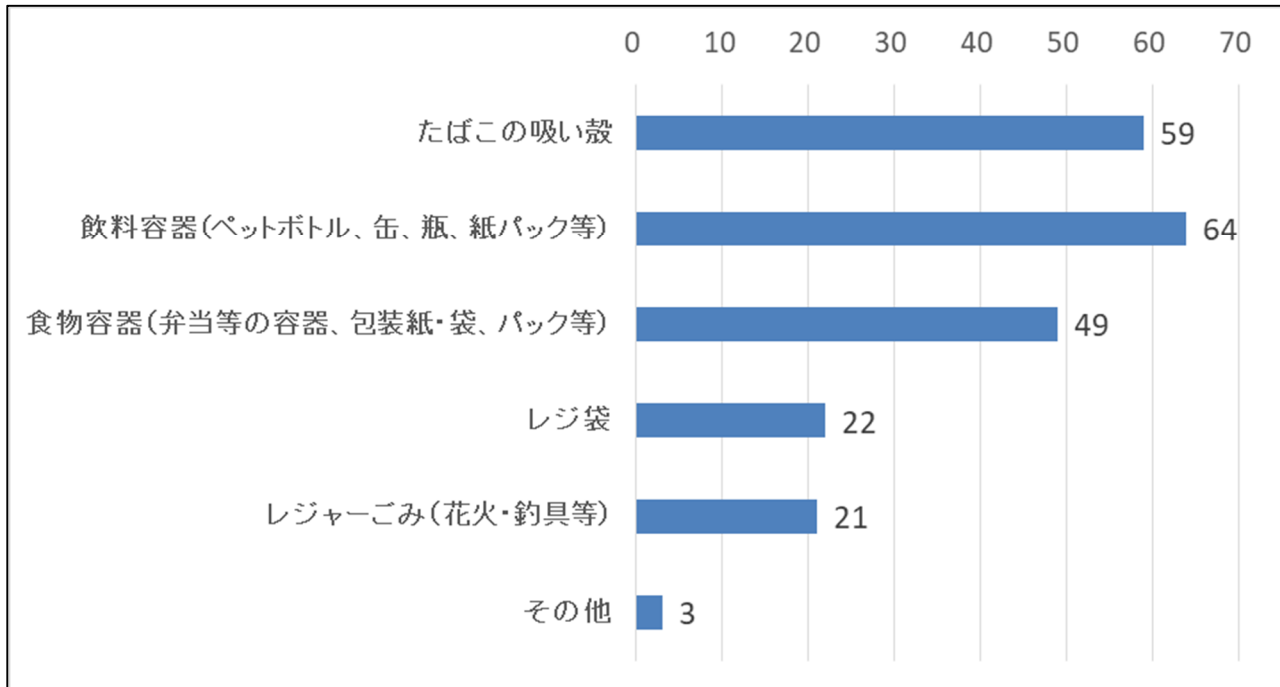
【問】 あなたは「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」(通称：クリーン条例)により、ごみのポイ捨てが禁止されており、また、ポイ捨ての回収命令違反者に対し、2万円以下の罰金が科せられることを知っていますか。



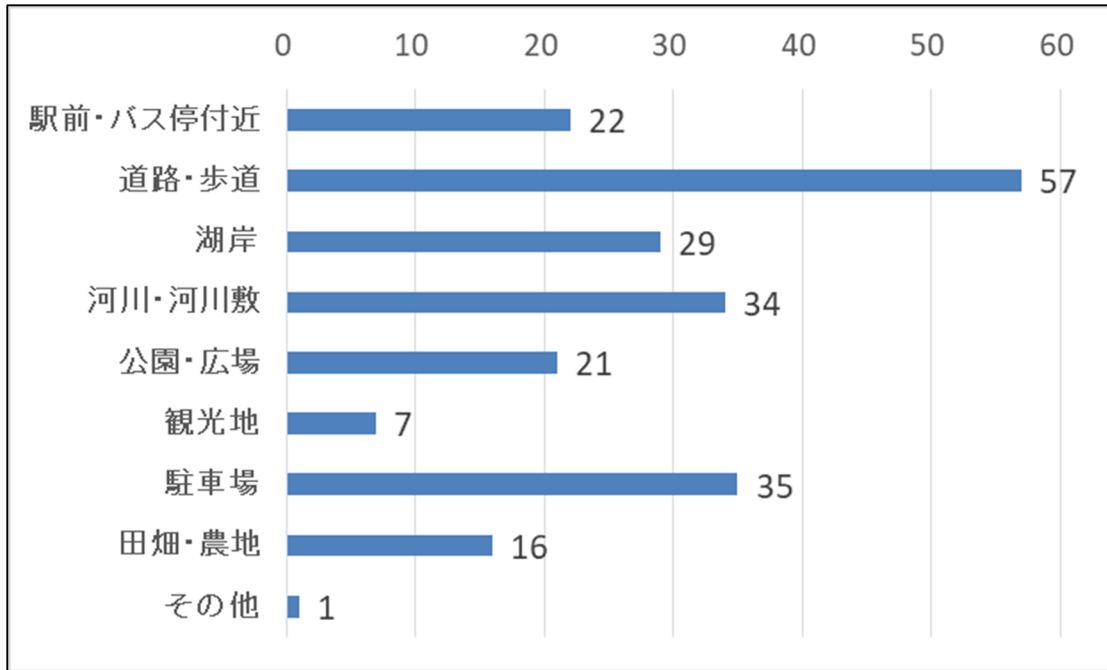
【問】 他の都道府県と比較して滋賀県のポイ捨ての状況はどう思いますか。



【問】 どのような種類のポイ捨てごみがよく捨てられていますか。(複数回答可)



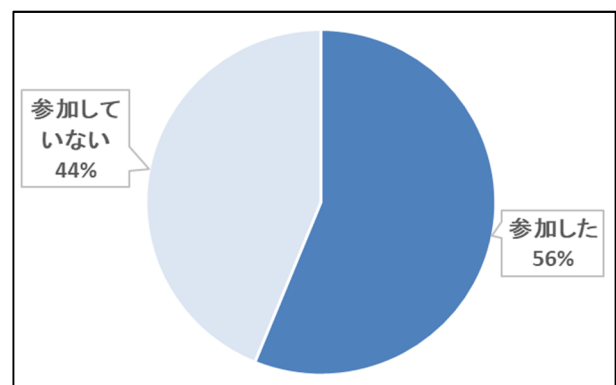
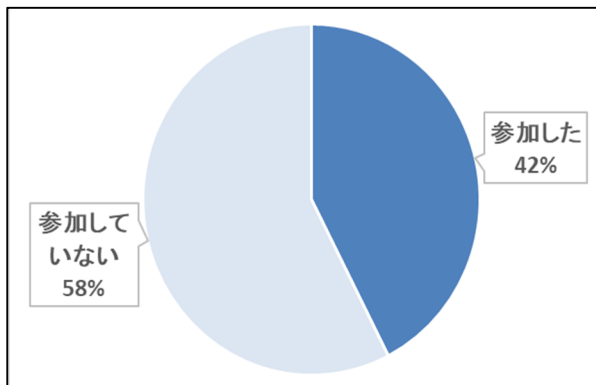
【問】 ポイ捨てごみをよく見かけるのはどのような場所ですか。（複数回答可）



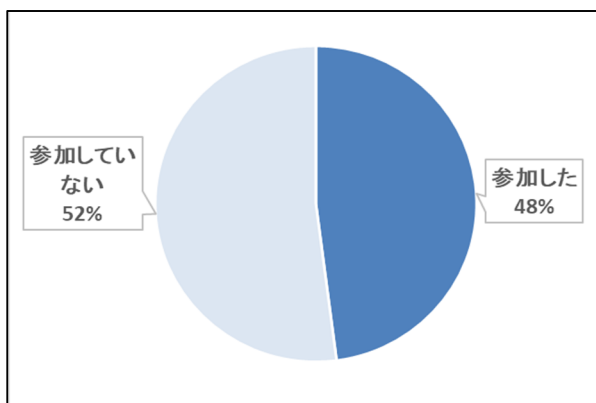
【問】 県や市町では、ボランティアによる清掃活動を推進していますが、最近1年の間にア～ウの清掃活動に参加されたことはありますか。

ア：アダプト・プログラム ※1

イ：環境美化活動 ※2



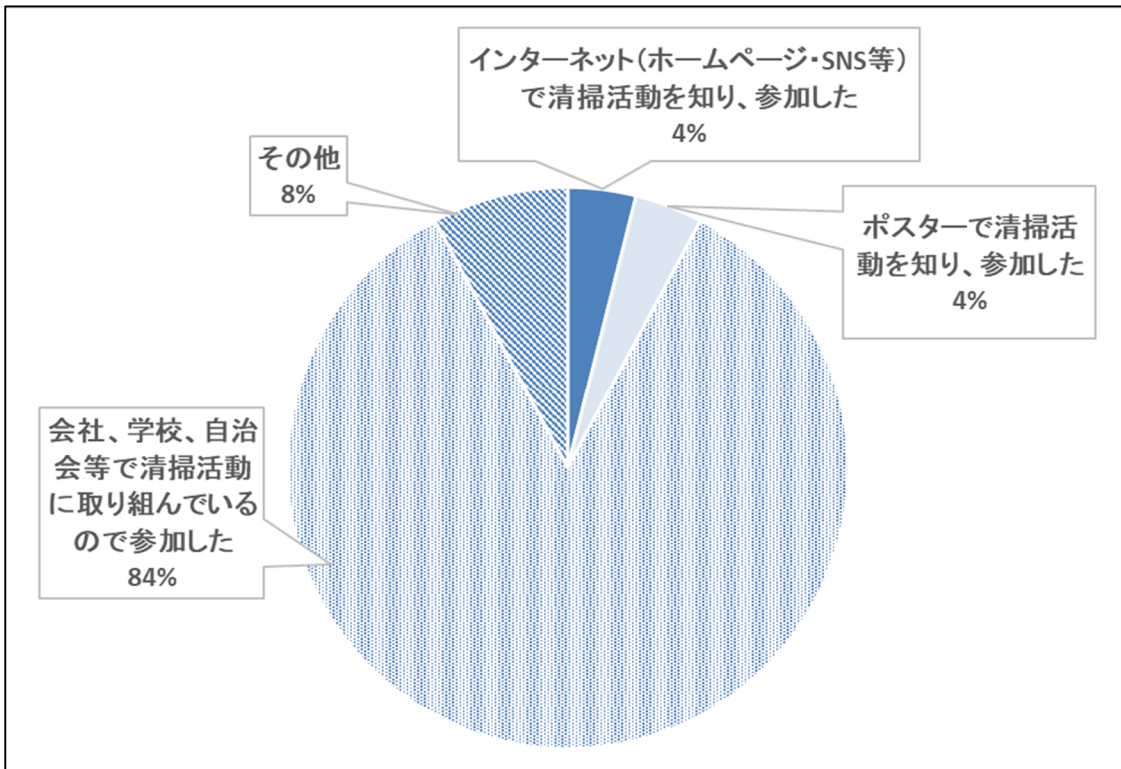
ウ：ア、イ以外の地域清掃活動



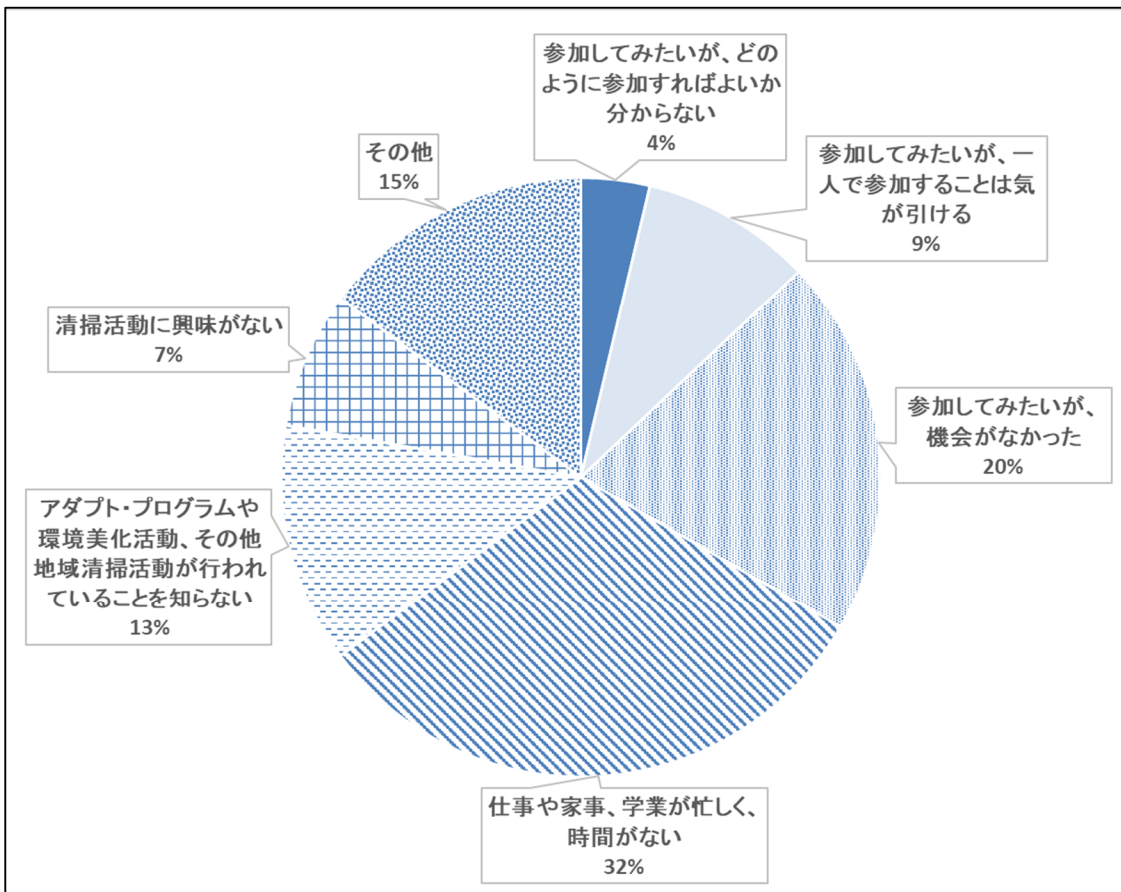
※1 市民と行政が協働で進める公共の場所での清掃活動（淡海エコフオスター活動、道路愛護活動、河川愛護活動等）

※2 県のクリーン条例で定められている環境美化の日（5月30日、7月1日、12月1日）を基準日として県下一斉清掃活動

【問】 「参加した」と回答された方にお尋ねします。どういったきっかけで清掃活動に参加されましたか。



【問】 「参加していない」と回答された方にお尋ねします。参加していない理由は何ですか。





【問】 ポイ捨てごみをなくすためには、どのような啓発が有効だとお考えですか。ご意見がありましたらお聞かせください。(自由記述)

- ・ごみが何回も有るところに警告看板設置
- ・ゴミ拾い活動を一定期間実行した人を表彰
- ・拾ったゴミの重量を計測して、自治体ごとデータ公開
- ・ゴミを減らした優秀事例を公開
- ・若い人の目に入る SNS での啓発
- ・定期的な清掃活動を行い、その活動を報道する
- ・タバコの吸い殻が多いので、吸う方のマナーの向上。
- ・子どもへの教育
- ・ポイ捨てをするとどうなるかが分かるストーリー形式のポスター掲示

(一部抜粋)

【問】 ボランティアによる清掃活動に、より多くの方(特に若年層)にご参加いただくためにはどのような取組が必要だと思われますか。ご意見がありましたらお聞かせください。(自由記述)

- ・個人に呼びかけるだけでなく企業単位で活動に参加していただく
- ・多年度の活動に対する表彰制度
- ・学校、自治会、老人会等グループへの働きかけ意識付け
- ・ポスター等による絶え間ない広報啓発活動
- ・学校ぐるみでの活動を増やす
- ・学校でボランティアの経験をする機会を多く作る
- ・ゴミを集めて回することでポイントになるような、アプリを使う
- ・一人でも参加し易い雰囲気、参加者特典を設ける

(一部抜粋)

【問】 その他ポイ捨てごみ対策についてご意見がありましたらお聞かせください。(自由記述)

- ・ゴミは発生しても、捨てないで持ち帰る運動を展開した方が良い
- ・琵琶湖畔や河川敷のゴミは危険が伴うし拾いきれない
- ・河川から琵琶湖にゴミを流入させないため、水門に柵を設置して、ゴミが引っかかるようにして防止する
- ・琵琶湖畔の駐車場は無料になっているが、環境維持協力金を新設し、美化の為に使う
- ・道路上のゴミは県、市町村等の区分を無くして取組が良い(県道上は県、市道上は市と管理が分かれている)
- ・ゴミの通報件数、回収件数、回収地区、回収費用などのデータを公開する
- ・昔に比べるとポイ捨てもずいぶん減ったのではないか。何でも100を20くらいに減らすのは比較的容易。20から先を減らすのは、今までと異なる(レベルの違う)取り組みが必要ではないか。
- ・ポイ捨ての多い場所では、監視装置かポイ捨てを促す音声装置を設置知る

(一部抜粋)